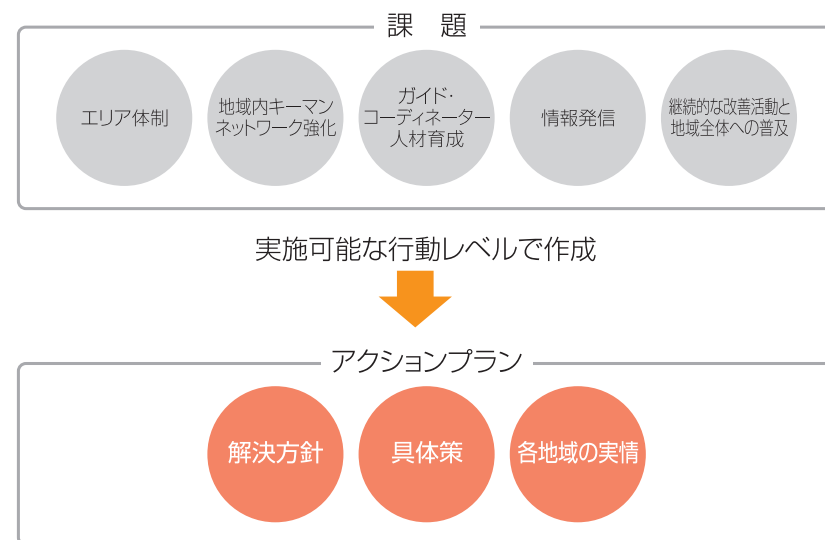


この手引きについて

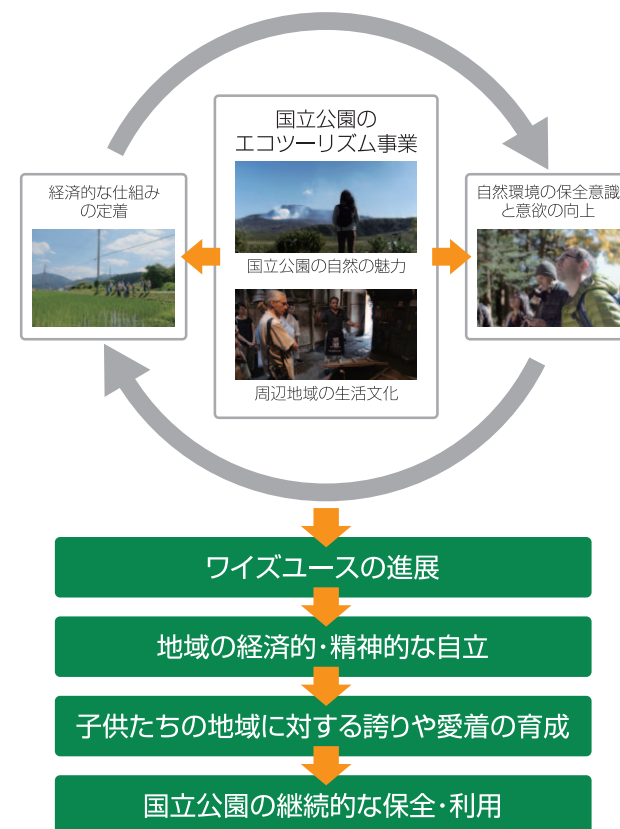
外国人観光客の国立公園への誘客とおもてなしに向けて地域で取り組む活動計画(アクションプラン)を作成するにあたっての参考とするため、主な課題と解決方策の例から構成されている。実際にアクションプランを作成するには、地域の様々な関係者が話し合い、地域の特色や強みを生かしたものとすることが必要である。



※また、新規に何かを始めるのではなく、各地域の資源を活かしたこれまでの取組の成果に、外国人旅行者の視点をエッセンスとして加えることで、外国人観光客が訪れたいと思える地域づくりを目指すことが重要である。

国立公園らしい観光のあり方

国立公園はわが国を代表する優れた風景地として、長年にわたり保護されてきた、いわば国の宝である。国立公園における観光は、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ」ものであってほしい。それは、観光客が海外から訪れる外国人であっても同様である。国立公園の自然環境の保全と地域の活性化がより良く循環することによって、環境に配慮した手法を用いて、地域全体が自律的かつ持続的に自然観光資源を管理し、利用しようとする「ワイズユース」が更に進展し、地域の経済的・精神的な自立が実現する。また、このような取組を通じて、子どもたちにも地域に対する誇りや愛着が生まれ、未来へと受け継がれていくことが、国立公園を活用した観光推進の目指す姿である。



エコツーリズムの推進方法

<http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/5policy/manual/>

外国人観光客おもてなしのための 国立公園アクションプラン 策定の手引き



<http://www.env.go.jp/park/expedition/>

Action Plan 01 エリア体制について

課題 | 国立公園は県内の複数市町村、または複数県にまたがるため、外国人観光客向けの受け皿としての機能も各行政区内に存在する組織や団体、各事業者で対応するケースが多く見受けられる。そのため、横の連携が取りづらい環境が背景にあり、海外の旅行会社や観光客から見た場合、コンタクト先や行政区をまたがる情報などがわかりにくい状況になっている。

解決の方策例 | 県・市町村の行政区を超えた広域エリアでのコーディネート・プロデュース機能をもつ民間団体を1～2社、選定（構築）。



Action Plan 02 地域内キーマンネットワークづくりと 推進組織の構築

課題 | 国立公園の利用方法や可能性、出来ることまたは出来ないことが地域内で共有できていない。各地域の自然保護官と、地域内の一般事業者などが直接つながる機会が少ない。

解決の方策例 | 地域内のキーマンのネットワークを構築。これをベースに、国立公園を活用するプログラムを作りたいという意思を持っている事業者向けに、自然保護官や関係者による国立公園概説・懇談会を開催する。（ガイドや観光関係のホテル事業者やツアー事業者などのBtoB向けのプログラムの開催など。）

Action Plan 03 ガイド・コーディネーター人材の育成

課題 | 各地域内には、外国人観光客から高く評価され得る資源が眠っている。しかし、それらを外国人観光客の視点に立って、取りまとめるエリアのガイド・コーディネーターが不足している。

解決の方策例 | 地域内の有形・無形の資源を熟知するとともに、外国人観光客の視点に立ったガイドやコーディネートが出来る人材を育成するとともに、受入マニュアル、受入れ体制を整備する。



※ガイド・コーディネーター人材の育成



Action Plan 04 情報発信

課題 | 情報発信のためのウェブサイトについては、制作してもその後のメンテナンスや情報の更新がなされないことが多い。また、国立公園の自然だけでの情報発信では訴求力に乏しいものになってしまう恐れがある。

解決の方策例 | 地域の既存の情報発信サイト及び世界規模の口コミ情報サイトを活用した情報発信を行う。特に、日本の国立公園の特長のひとつである自然と人々が共生した暮らし・生業などの魅力を、外国人観光客が旅をしているその場から発信できる環境を整備する。



目立つ表示に



既存パンフレットの情報整備



利用できる場所を明確に

Action Plan 05 継続的な改善活動と地域全体の普及

実現へ向けての推進体制

キーマンネットワーク等をベースに地域・観光旅行・ガイド・地域住民・観光事業者・関係団体などが相互に関わりあい、連携、協働する事で地域が結束し、地域外の方たちとの交流により、新しいつながりやコミュニティが発展する体制（エコツーリズム推進協議会等）づくりを目指す。

実現までの進捗管理

上記体制において、外国人観光客等の声を募りながら、新たに生じる課題への対応やアクションプランの改善を図る。

